

10. 運営費交付金債務及び当期振替額等の明細

(1) 運営費交付金債務の増減の明細

(単位：円)

期首残高	交付金 当期交付額	当期振替額				引当金見返 との相殺額	期末残高
		運営費交付金収益	資産見返 運営費交付金	資本剰余金	小 計		
68,831,874	7,026,729,000	6,100,741,589	254,123,351	0	6,354,864,940	618,464,274	122,231,660

(2) 運営費交付金債務の当期振替額及び主な使途の明細

①運営費交付金収益への振替額及び主な使途の明細

(単位：円)

区 分		運営費交付金収益	運営費交付金の主な使途	
			費用	主な使途
業務達成基準による振替額				
	研究事業	2,253,451,864	2,253,451,864	人件費：1,269,286,912円 材料費：35,617,475円 委託費：397,086,918円 水道光熱費：458,620,821円 その他：92,839,738円
	臨床研究事業	1,847,447,725	1,847,447,725	人件費：575,921,774円 材料費：300,979,054円 委託費：752,249,503円 水道光熱費：25,771,910円 その他：192,525,484円
	診療事業	68,964,000	68,964,000	人件費：68,964,000円
	教育研修事業	826,483,000	826,483,000	人件費：678,652,626円 委託費：56,776,951円 その他：91,053,423円
	情報発信事業	1,091,049,000	1,091,049,000	人件費：584,083,217円 材料費：10,483,979円 委託費：350,357,286円 水道光熱費：19,176,039円 その他：126,948,479円
	法人共通	13,346,000	13,346,000	その他：13,346,000円
期間進行基準による振替額		—	—	
費用進行基準による振替額		—	—	
合計		6,100,741,589	6,100,741,589	

②資産見返運営費交付金及び資本剰余金への振替額並びに主な使途の明細

(単位：円)

セグメント	資産見返運営費交付金への振替		資本剰余金への振替	
	振替額	主な使途	振替額	主な使途
研究事業	29,780,740	研究用器械・備品：29,780,740円	0	
臨床研究事業	224,342,611	研究用器械・備品：135,840,151円 ソフトウェア：88,502,460円	0	
診療事業	0		0	
教育研修事業	0		0	
情報発信事業	0		0	
法人共通	0		0	
合計	254,123,351		0	

(3) 引当金見返との相殺額の明細

(単位：円)

セグメント	引当金見返との相殺	
	相殺額	主な相殺額の内訳
研究事業	116,451,238	退職給付引当金見返：116,451,238円
臨床研究事業	17,216,014	退職給付引当金見返：17,216,014円
診療事業	440,506,624	退職給付引当金見返：440,506,624円
教育研修事業	328,893	退職給付引当金見返：328,893円
情報発信事業	3,476,419	退職給付引当金見返：3,476,419円
法人共通	40,485,086	退職給付引当金見返：40,485,086円
合計	618,464,274	

(4) 運営費交付金債務残高の明細

(単位：円)

運営費交付金債務残高		使用見込み
業務達成基準を採用した業務に係る分	122,231,660	翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高と使用見込みは以下のとおりである。 ・ 研究事業 横断的研究推進組織経費において、研究計画等が未了のため、翌期に40,473,396円収益化予定。 ・ 臨床研究事業 がん研究開発費による研究において、一部を翌期まで延長することから、翌期に16,623,683円収益化予定。 ・ 臨床研究事業 治験臨床研究推進事業（築地）において、取得したリース資産の翌期以降支払い分31,323,601円を繰り越すものである ・ 臨床研究事業 BRIDGE（科学技術イノベーション創造推進費）において、研究計画等が未了のため、翌期に33,810,980円収益化予定。
費用進行基準を採用した業務に係る分	－	翌事業年度への繰越額はない。
計	122,231,660	